

議会基本問題調査特別委員会（第9回）

日 時 平成28年11月10日（木）

9：00～9：46

場 所 議会棟 第2会議室

出席者 委員長、副委員長、委員9名（欠席：なし）（傍聴者：1名）

説明員 なし

書 記 井川主事、岩崎事務局長

○坪倉委員長 皆さんおはようございます。ただいまから、第9回議会基本問題調査特別委員会を開会致します。先月末には町内7ヵ所での議会報告会並びに意見交換会、皆様大変お疲れ様でした。町政に対する課題、議会活動に対する課題、そして議員定数等について町民の皆様から意見を聞くことが出来て、また意見交換をすることが出来て有意義な会であったと思っています。本日の委員会は前回の委員会で協議を致しました議員定数等に関するアンケートについて、その中身について協議を行いたいと思いますのでよろしくお願ひします。それでは早速ではありますけれども、お手元に配布しております資料に基づいて議員定数等に関するアンケートの中身について協議をしていきたいと思ひます。お手元に配布しました資料はたたき台といひましょるか案として局長にまとめてもらったものであります。最初に議長名でのお願いの文章、そしてA3版ですけれども議員定数等に関するアンケート調査、そして参考資料ということでもまとめておりますので協議をお願ひしたいと思ひますが、これについて局長から概略の説明をお願ひしたいと思ひます。

○岩崎事務局長 そうしますとお手元のまづ依頼文書の方でござひます。アンケート調査についてお願ひということで、このアンケートにつきましては11月25日の広報に各家庭まで配布するということでもござひましてお願ひの文章になります。四角い黒い印がついておりますけれども、アンケート調査表の記入についてということで黄色いアンケート調査表がA3横のものが付いておりますけれども、質問項目につきましてはあとでご説明の方をさせていただきます。各世帯に1枚ずつ配るということで、このアンケート調査表につきましては回答者を6名まで1枚の紙で回答できるような形になっております。6人以上という場合もあろうかと思ひますけれども、その部分に

については臨機応変に対応したいと考えております。それからアンケートの調査表を各記入していただくに当たりまして、議会の仕組みとかそういうものを若干説明したものの、参考資料という事で A3の左上に参考資料という枠で囲った資料を付けております。この中には議会の基本的な役割ということを書いておりますし、最後には現在の日南町議会の日南町発足以来議員定数の推移ということで議員定数、それからその時の日南町の人口ということで参考といたしておりますし、その右の表には県内の町村の状況、議員定数、面積、人口ということで参考的に記載の方をさせていただいております。それからアンケートの回収についてということで、配布につきましてはこの封筒になるんですけども、この依頼文書と調査表と参考資料と回収用の封筒まとめまして、この封筒に入れまして各世帯まで配布をしたいと考えております。アンケートの回収につきましては、この封筒に同封します回収用の封筒、料金後納の封筒になりますけども、こちらに入れて返信していただくということで、期限といたしましては今年の12月31日までの投函ということでお願いしたいと考えています。それからアンケートの結果についてということで言葉を書いております。これにつきましては、いわゆるこのアンケートの結果が直接定数を左右するものではないということを一言加えさせていただいております。続きましてアンケートの調査表でございます。質問1「あなたの性別と年齢」、質問2「議会広報「議会だより」を読まれたことがありますか」、質問3「ちゃんねる日南（3チャンネル）で議会放送を視聴されたことがありますか」、質問4「議会の議論に町民の声が反映されていると思いますか」、質問5「日南町議会の「政策提案」をどのように評価されていますか」、質問6「日南町議会の「執行機関のチェック機能」は働いていると思いますか」、質問7「総合的に見て日南町議会の活動をどのように評価されますか」、質問8「現在の議員定数12名についてどのように思われますか」。これにつきましては「多い」「少ない」「ちょうどいい」「わからない」という4つの選択肢の方を上げさせていただいております。それから質問8-1ということで多い少ないということでございますけれども、どういう面から判断されたかということで、多くの項目ではございますけれども、複数回答可ということで「財政状況から」とか或いは「人口規模面積」というようなところで、複数回答で選ぶ形をとっております。それから質問9「町議会議員選挙に立候補者が少ないことについて」、この辺につきましても選択肢を複数設けまして複数回可ということでアンケートの方をする予定でございます。それから最後に自由にご意見をご記入

くださいという項目を付けております。以上で説明の方は終わらせていただきます。
よろしいでしょうか。

○坪倉委員長 資料の概略についての説明を局長からしていただきましたけれども、これから皆さんの意見を伺って整理をしてこの調査表をまとめていきたいと思っておりますので意見をよろしくお願ひします。アンケート調査表ですけれども、議員定数を中心としたアンケートにという思いはありますが、しかしながらそのことだけをただ単に問うということで、なかなか議員定数のあり方そのものの背景とか議会の活動とか、その辺のところについても若干状況を把握して、議会活動に十分理解をしていただいております方、おられない方もあると思ひますけれども、それぞれの方々の議員定数に対する考えの背景等も少し参考にすることができればなと思ひて、多様な質問、設問を設けておるところでありますけれども、いかがでしょうか。久代委員。

○久代委員 まず感じたのは、例えば6名の回答を一覧にしてありますよね。それぞれ一家族でもいろんな考え方があるわけで、このアンケート用紙そのものを一枚の紙に回答をしてもらうという方式がどうなのかという点を思ひました。仮に18歳以上の有権者が複数おられる場合はその複数枚数を入れて、要するにその封筒に有権者3人おられるなら3枚入れて出して、一人一人が回答をしてもらうという方式の方が私は普通アンケートといえはそういうもんじゃないかなと思ひました。一覧で書く方式はどうなのかということです。

○坪倉委員長 他の委員の皆さんはどうお考えでしょうか。久代委員が言われた方法もあると思ひますけれども、非常に世帯ごとの人数把握、そしてそうすると配布する封筒にも全て名前を付けないと配布できない。その辺が自治会長さんや班長さんの負担にもなるのかなというところもあってこういう方式を考えたところです。全ての世帯に6枚ずつ入れるのは。

○福田委員 これでいいじゃないか。1回目はこれで出せばいい。

○坪倉委員長 山本委員。

○山本委員 久代委員が言われるのは最ものような気がしますが、実務的にもの考えた時にこの家に何名というのはこちらから郵送していく方法をとった方がいい。25日に自治会を通して配布ということではなくて、山本芳昭に直接郵送されて返していくという方法を取らないと、人数把握して班長さんに各家に全部配っていただひてという手間は大変だというふうには思ひます。いかがでしょうか。

○坪倉委員長 　他の皆さんとでしょうか。近藤委員。

○近藤委員 　今山本委員が言われたのが最もだと思います。自分も最初見た時に複数の人が1つの紙に回答を書くというのは、その家の中でもやはり考え方が違う方がおられて、それが姑さんだったり旦那であったり、それから自分の奥さんであったり、知られる事をあまり良しとしない方もおられるんじゃないかなというようなことを懸念はしたわけですがけれども。実務的と言われたら確かに本当自治会長さんであったり班長さんであったり、いろんな方に負担がかかるということで、そのバランスをどっちにとったらいかなということでも今悩んでいるわけで。実際問題これで大まかな流れは汲めるんじゃないかなという気がしておりますので、この方向でいってもいいんじゃないかという考えになっております。

○坪倉委員長 　他に意見はありませんか。大西委員。

○大西委員 　費用のことがあるかもしれませんが郵送をする。例えば選挙人名簿であるけれども選挙する時には各家にいきますよね。自治会のことも問題があるんですけども、生山の自治会では自治会員になっていない方が結構おるんですよ。だから全て網羅するのか、例えば自治会に入っておられる方のみ有効になるので、そういうことも検討かなと。全戸配布するのかと。ただ生山の方についてはおそらくアパート関係はほとんど自治会に入っていないので、そういう方で有権者がいるということもありますのでちょっとその辺はどうするかは、全員の方に有権者の方に配るか配らないかもありますけども、そういう問題もあるということだけちょっと提起しておきます。

○坪倉委員長 　確かに自治会員でない方にどう届けるかというところの課題はあります。例えば議会として住民票による世帯人数の把握というのは、個人情報等の関係等からできるんですか。人数だけは。

○岩崎事務局長 　世帯員の人数の把握というのは。今の大西委員の話では自治会未加入で広報が手元に届かないという方はアンケートも届かないということになりますので、どうなのかなという思いは。自治会未加入の方を把握するのも世帯数を調べるのと同じ様な考え方で個人情報の一つなのかなと捉えますけども。

○坪倉委員長 　恵比奈委員。

○恵比奈委員 　私もやっぱり1人に1枚が本当は理想だというふうに思います。今近藤委員が夫婦であっても、嫁姑であっても、親子であってもという話をされましたけ

れども、そういうこともあると思いますので、やっぱり1人1枚が理想かなと。具体的に全部の家に有権者の数が世帯ごとに把握できないということになると、全部の封筒の中に6枚ずつ入れるかということになると、私はそれぐらいでもいいと思うんです、本当は。重たくなりますし費用もかかるかもしれませんが、それぐらいのことをしてでも町民の意見を取りまとめたいという、その意欲は見せてもいいと思いますし、それから自治会に入っておられない方に広報も届いていない方はどうするかという面では、これは私もちょっとわからないんですがよくこの地域にお住まいの方へと言って全てにポストイングされるのがありますよね。郵便局でも頼めばやってもらえるのかどうかわかりませんが、それがどれぐらい費用がかかるのかわかりませんが、そういう方法を取ることもいいのかなと思いますけれども。

○坪倉委員長　　どうでしょうか。1つの封筒に個別に6枚入れるのか、この一覧表方式でいくのかということだと思いますけれども。福田委員。

○福田委員　　一応これは参考資料としている。回答も全部が全部来ないと思う。ある程度の調査という事になればこれで意見を出してみても、それで話にならんかったら、返って来ないんだったらまた再度考えて出すべきであって、とりあえずこれでアンケート取ってみればいい。それで議会報告会でもそうでしょ。来る所と来ん所とあるでしょ地域で。アンケートはこのままいかないと、全部が全部拾い出したら大変なことになるよ。これをまた仕分けをして封筒に入れる作業は業者を頼まないといけんでしょう。自分らがして出すならいいよ、配って歩くな。議会活動でやっていくならいいと思いますよ。全部業者任せでしょうこれは。やっぱりそれも考えてやるべきだと思う。

○坪倉委員長　　この一覧表方式であっても家族によっては全く親でも、子でも、夫婦でも、他人というか自分以外の人の意見を干渉受けずに、あくまでも自分の意志でその通り書かれる方もあるでしょうし、家族内でこの際議会について町制について、色々意見交換をされた上で書かれる方もあるでしょうし。いろんなケースがあると思うわけですがけれども、副議長の意見ではないんですがこういう形でとりあえずという言い方は失礼ですが、今のところ取らせてもらえればなと思うわけですが、いかがでしょうか。山本委員。

○山本委員　　私も坪倉委員長の意見に賛成であります。ただ、先程ありましたように自治会に入っておられない方についての対応ということで、先程恵比奈委員言われ

ましたけれども、郵送での対応ということを検討すべきじゃないかなと思います。それともう1点細かいことですが、このアンケート調査表の表、表とありますけれども、これは一票二票の票の字が適切だと思います。

○坪倉委員長 表題の表の字は直しておきたいと思います。自治会の配布物を通して配布するのか、区域内配達郵便という方法で全世帯に届けるようにするのかというところなんです、経費としてどれぐらいかかるかわからんですか。すぐ聞けるでしょう。

○岩崎事務局長 郵券につきましては、補正を組んで要はいわゆる回収料の料金だけは予算化はしておりますけれども配布用の予算というのはありません。そうしますとすでに前回広報で配布するという事が決まっていたので、回収料のいわゆる料金後納の申請も郵便局の方にしておりますので、大変申しわけないんですけれどもそういうスケジュール間が間に合わないというところで、事務の方先行している部分ございます。そこら辺もご協力をいただきたい。

○坪倉委員長 古都副委員長。

○古都副委員長 お話になった久代委員の話、アンケートについては正論だろうと思っておりますし、その後皆さんが言われた自治会未加入の方に対する対応という話でございますけれども、返信用を個人の秘密として各家から別々に送ってもらうということになるなら費用も莫大です。家族ですので、家族の意見が違ってても或いは先程話があったように、家で色々勉強されて統一されても私はいいんじゃないかと思っております。それと自治会未加入の方の経費の問題があるわけですが、基本的には未加入という意思表示をしておられるわけでありますから、こういう差が出ることも私はやむを得んなど。対応策として考える場合に防災無線等がついておるとすれば、例えば議会事務局まで取りに来てくださいとか、何とかセンターまで取り来てくださいというような形の広報をしてですね、意思のある方はこれに記載をして出してもらうということぐらいでないと、微に入り細に入りという事になると相当な準備期間がないと11月25日には間に合わんだろうと思いますので、今回はそのような範囲での対応でいいんじゃないかと私は考えております。

○坪倉委員長 恵比奈委員。

○恵比奈委員 そのような対応で致し方ないと思いますが、それでしたらホームページでも回答出来るような方法が取れたらいいというふうに思います。防災無線で放

送してもらう時、ちゃんねる日南で放送してもらう時にインターネットでホームページからアンケートに記入出来ますよという事をご協力くださいというふうに言えたらなおいいというふうに思いますが。

○坪倉委員長 古都副委員長。

○古都副委員長 その場合無記名方式になっておるので、同人が何回書いてもわからないというような問題が出てくると思うんですよ。一応引き取りに来てもらえれば確認ができると思いますけれども、その必要がないということであれば1人の方が何通出されてもこちらでは確認が取れないという事も考えられるので、そこら辺折り合いのつくところで話をつけたらなと私は思うわけですけども。

○坪倉委員長 恵比奈委員。

○恵比奈委員 言われますけど、それは1人の人が何通もという事はあると思います。でもこれはあくまでも参考にするためですから、大抵見れば数だけで決めるわけではありませぬので、それから議会事務局に取りに来てください、センターに取りに行ってくださいって、誰がわざわざ取りに行行って回答しますか。自分の家にこれ配られて来てても面倒くさいけんお母さん書いて、お父さん書いてという事にたぶんなるというふうに思いますので無理だと思います。議会がやっぱり町民の皆さんの意見をどのようにして吸い上げようとしているかということなんだというふうに思いますよ。いいこと言えば一軒ずつ、みんなで手分けして回るぐらいのことをしても私はいいと思いますけれども。皆さんお忙しいでしょうから、そこまでする必要はないというふうに思われるんならそれなりの対応をしていかないといけないと思います。

○坪倉委員長 近藤委員。

○近藤委員 言われることも最もで大変反論のしようもありませんけど、アンケートということでこれからの指標の役にたてるという位置付けにあるわけで、今話を聞きますと自治会に入っておられない方でも日南町に住んでおられても住民票があるのかわからないのかかわからないという実態もあるわけですし、そこまで全部拾い出して普通選挙をするような形で選挙人名簿というような形でそれを手に入れて対応できたらいいわけですけども、実際問題そういうことがなかなか出来ないではないかなという具合に考えております。これから先の自分たちの考え方を決定するに於いて、決めるに当たっての自分の参考にもしたいし、皆さん方もそういう形で利用していく上ではある意味、方向性を伺えたらいいんじゃないかなという気持ちでおりますので、この方

法でいってもいいのではないかなという気しております。

○坪倉委員長 恵比奈委員からホームページ上での掲示ということも意見が出ましたが、自治会に加入していない世帯数というのは概ねどれぐらいありますか。それこそ個人情報でわからんでしょうけど。特に生山は。

○大西委員 50世帯くらい。

○坪倉委員長 山本委員。

○山本委員 あかねの郷とかですね、下石見は町報配っておりますが、何部も配っておりません。1部程度です。そこにどの程度の枚数を配るかという事があるとは思いますが、いかがでしょうか。

○坪倉委員長 介護施設、病院はどうするか。福田委員。

○福田委員 このアンケートはあくまでもアンケートで、これを参考にするのであって1回はこれを出しましょう。集まらないような事だったら、議員が各自アンケートを書いてもらって集めて歩く。最終的にはそれしかないと思う。一応これを出してみてもどれだけの返事が返ってくるかという事でやりましょう。早くしなければ間に合わない。

○坪倉委員長 大西委員。

○大西委員 今福田委員が言われたことについて賛成ですね。まずやってどれぐらいの回収率があるのか。それが80、90になれば、これはもっと網羅しないとイケないですね。

○坪倉委員長 足羽委員。

○足羽委員 広報でこのアンケートを出されるようですけれども、自治会長さんの方にも徹底していただいて、班長さんにも伝えてこういったアンケートが来ますよというのはやっぱり徹底してもらわんとイケないと思います。広報が来ても実際見られない方いうのも結構おられるんじゃないかなと。スルーするんじゃないかなというような気がしますので、その辺は最低でも世帯主の方に分かってもらうように自治会を通してPRと言いますか、そういうのはやってもらった方がいいんじゃないかなと。当然防災無線なんかも使った方がいいと思いますけれども、そのぐらいのことはした方がいいかなと思います。

○坪倉委員長 福田委員。

○福田委員 最初アンケート取る件について、基本問題やったでしょう。自治会頼

んでやりましようとなつとるんだから、それでいくべきじゃない。今ここで討議する事ないと思う。皆さんが決めて自治会に頼んで配ってもらいましようとなつたんだからそれでいけばいいじゃない。

○坪倉委員長 福田委員が言われることは最もでありますけれども、しかし経費の範囲内、或は労力の範囲内で出来るよりベターな方策があるとすれば検討もあってもいいのかなと思います。ですが、足羽委員が言われたことは必要なことなのかもしれませんが、議会から自治会長或いは班長にそこを強く要請をするというのが一般的に考えるとなかなか難しいだろうと思います。ですので、防災無線やちゃんねる日南を使って町民の方にPRをしていくと。是非協力をお願いしますという言い方でないと自治会長や班長にそこまでの任を負わせるのは難しいのかなと私は思っています。恵比奈委員それから久代委員が言われることも、どれだけ町民の声を聞くかという姿勢も大事であります。本当に大事なことだと思いますし、そこに汗をかくのは当然でありますけれども、前回の委員会の流れ予算計上の流れ等からして、今回は自治会の配布物を通したアンケート配布、この一覧表方式でということで行きたいと私は考えますが、委員の中にもそういったことにすべきだという意見もありますがいかがいたしましょうか。最終的に。

○古都副委員長 今回はこれでいきましょう。

○坪倉委員長 村上委員。

○村上委員 いろんな意見があるのは当然だろうと思っておりますけれども、先程委員長の方からもありましたように経費も補正予算で可決をしておるし、すれば本当にその対応についてはせめてホームページぐらいには載せてやるというのはひとつの方法論だと思いますし、後の広報の仕方については防災無線なり、3ちゃんねるなりを使って広報する。そして皆さん方になるべくなら回収を多くしていただくというこの努力だけで、今のこの現状のものでやっていただければいいんじゃないかなと私は思いますけれども。

○坪倉委員長 アンケートについては、町の配布物と同時に自治会を通して各世帯にお願いをするということでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○坪倉委員長 では、そういう方法にさせていただきます。議長からもありましたけれども、アンケート調査票を議会のホームページに記載をしておくというのはよろ

しいでしょうか。近藤委員。

○近藤委員 表題の挨拶文の小さなことで気になったのが、アンケートの結果についてという項目で参考とするものでありとありますけれど、なんかこれ上から目線をお願いするという姿勢でないような気がしとるもんで。文面が気になったもんで。

○坪倉委員長 恵比奈委員。

○恵比奈委員 はっきりこういうふうに言っておかないとアンケートの数の結果によって議員定数が決定されるものだとばかり誤解されても困るわけですが、ただ言い方としてこういう言い方しかできないのかなあとも思います。でもぱっと読んだ時に、なんだそげなようなら書かんはとって思われかねないなというふうに思いますが、なんか良い方法があれば。例えば、このアンケート結果によって議員定数を決定するものではありませんが、最大限参考にさせていただきますとか。そういうような。

○坪倉委員長 趣旨を変えない限りで若干の文言の修正があるかもしれませんが、基本的にはこういう文脈でいきたいと思います。それで今一番上に付いておりますアンケート調査についてお願いの文章、それから次のアンケート調査票、次の参考資料について、この中身について皆さんから意見が。古都副委員長。

○古都副委員長 小さなことかもわかりませんが、四角の3つ目の回収についてのところですが、「(切手は不要です)」を波の大きなアンダーラインとかはっきりしないと高齢の方もおられるわけで、()書きで説明しておられますけれどもわかりやすい表現にした方が私はいいと思いますけれども。

○坪倉委員長 太字にするかアンダーラインか、よりわかりやすい表現に変えていきたいと思います。他にありますでしょうか。特にアンケート調査票についていかがでしょうか。恵比奈委員。

○恵比奈委員 最後のご意見ご要望ありましたらご記入くださいのところの欄が、1人ずつになっていて紙面の都合上狭いわけですよね。ちょっと書きづらいかなど。書けなかったら裏に書いてください、ご自由にと。裏が広いですので書いてもらうようにしたらどうでしょうか。

○坪倉委員長 意見をもっと多く書けるようにスペースを確保するべきだということで、裏にも記載できるようにということではありますが、それについてはよろしいですね。

「(はい) と呼ぶ者あり」

○坪倉委員長 荒木委員。

○荒木委員 最初の性別と年齢ですけれども。何歳と自分の歳を書くようになって
いますけれども、その手前に①10代、②20代がというふうにした方がいいと思いますが。

○福田委員 これがいい。

○荒木委員 細かく年を聞くよりも。例えば3人回答があって何歳何歳ときちっと
書いてあったらこの家だと分らんこともない。

○福田委員 それはちょっと分からない。

○恵比奈委員 わかりません、住所がないから。

○荒木委員 普通のアンケートの場合は多いのは、自分の歳を書く場合もあります
し、何十代で回答する場合もある。それが一つ。もう一つ最後の10番のところの、
「ご要望等ありましたら」の「ら」が抜けています。だから1番の男女はいいですけ
れども、例えば20代30代40代での回答を。下もなっていますので。

○坪倉委員長 荒木委員の意見として、具体的な何歳かという年齢を書くではなく
て、何十代かという表現にということなのですが。近藤委員。

○近藤委員 年代を書けばスペースが足らなくなるか。10代から90代まで9つ
書かないといけなくなる。それからその年齢で住所が分かる家庭が分かるという事も
ちょっと考えにくいような気がします。誇りをもって歳をとられていたらその歳を書
かれたらいいじゃないですか。

○坪倉委員長 ここは年齢についてですけれども、例えば差し支えなければという
ような前段に書くかどうかということもあるんですが、基本的にはこういう形でいき
たいと思います。世帯が特定されることは、町内ランダムに郵便として返ってきます
のでまず無理だろうと思います。その他、設問項目等について。参考資料については
よろしいでしょうか。意見がないようですのでアンケートについてはこういう方式で、
こういう内容で進めさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。次にそ
の他でありますけれども、特に協議事項として用意はしておりませんが、今後の進め方
として先に行われた、議会報告会並びに意見交換会についての町民からいただいた課
題について、この委員会で検討協議する項目もあるだろうと思いますので、それらに
ついてはまた12月定例会の中で協議をしていきたいと思ひますし、特に議員定数につ
いては意見交換会の意見のこのアンケートの結果を元に検討を進めていきたいと思
ひますが、その時期については1月以降アンケートが回収できて、結果を一定程度ま

とめた時点で協議に入っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。その他この委員会で検討すべき課題等その他何かありますでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○坪倉委員長　それでは本日の委員会は以上を以て閉じたいと思いますが、異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○坪倉委員長　それでは、本日の委員会を以上を以て閉会をいたします。ご協力ありがとうございました。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成　　年　　月　　日

委員長

副委員長